

なんたん

市議会だより
No.18
平成22年7月23日発行

発行／南丹市議会 編集／広報特別委員会
〒622-8651 京都府南丹市園部町小桜町47番地 TEL.0771-68-0059(直通) FAX.0771-63-0350
●e-mail gikai@city.nantan.kyoto.jp ●http://www.city.nantan.kyoto.jp



おもな内容

- P2 6月補正予算
- P2 委員会での主な質疑
- P4 主な条例制定・改正
- P5 一般質問
- P13 委員会活動報告
- P14 南丹市の頑張る人たち

平成22年度 特別会計補正予算(第1号)



会計名	補正前の額	補正額	現在額	概要
国民健康保険事業	34億4,520万円	265万円	34億4,785万円	国保連合会電算機器更改整備負担金
介護保険事業	29億8,360万円	375万円	29億8,735万円	包括的支援事業の充実など
簡易水道事業	6億4,530万円	3,946万円	6億8,476万円	老朽管の更新など
下水道事業	28億4,030万円	130万円	28億4,160万円	雨水排水事業など

議会では、議会活性化が叫ばれているが、本議案のような議会に対する行為に対し、議会は毅然たる態度で不承認を示し、専決処分の内容について検討を促す必要がある。議員諸兄の賢明なる判断を仰ぎ、反対の討論とする。

平成21年度 南丹市土地取得事業 特別会計補正予算 (第5号)について

専決処分

反対討論(要旨)

松尾 武治 議員

今議会には、予算関係では、21年度の一般会計と簡易水道事業など3特別会計予算の専決処理が承認され、22年度の一般会計と国民健康保険事業など4特別会計の補正予算が、また、条例分の承認や、22年度の一般会計と交流広場設置条例などあわせて8件の条例の制定や一部改正などが提案され、14日から16日かけて開かれた各常任委員会で具体的に審議したのち、24日の最終本会議で、いずれも原案どおり承認・可決しました。

一般質問は9日から11日までの三日間行われ、15人の議員が質問に立ち、市政を質しました。そのほか、議会の活性化を検討する議会特別委員会の設置や副市長選任などが提案され、いずれも原案どおり可決、同意しました。

平成22年度一般会計補正予算(第1号)【全員賛成】可決

**3億9,918万円を追加し、
総額 198億1,718万円に**

歳入の概要

- 市税 7,270万円追加 固定資産税償却資産分
- 分担金及び負担金 1,015万円追加 鳥獣害防止総合対策事業分担金
- 国庫支出金 2,782万円追加 合併市町村補助金(新規)など
- 府支出金 8,198万円追加 地域子育て創生事業補助金など
- 繰入金 350万円追加 義務教育施設整備基金から繰入(新規)
- 諸収入 1,053万円追加 国民文化祭の市町村運営助成交付金(新規)など
- 市債 1億9,250万円追加 道路橋梁整備事業のための借入れなど

合計 3億9,918万円

- 総務費 2,242万円追加 まちづくり活動支援交付金(新規)など
- 民生費 852万円追加 地域子育て創生事業費(新規)など
- 衛生費 3,044万円追加 簡易水道事業特別会計への繰出金など
- 労働費 463万円追加 緊急雇用創出事業費
- 農林水産業費 4,995万円追加 野生鳥獣被害総合対策事業など
- 土木費 2億6,335万円追加 道路新設改良事業など
- 消防費 1,060万円追加 木造住宅耐震改修事業補助金など
- 教育費 927万円追加 学校図書館有効活用方法調査研究事業(新規)など

合計 3億9,918万円

- 問 有害鳥獣の防護柵設置の補助対象が原則3戸以上となっているが、3戸まとまるのは難しい実態。見直しの検討は。
- 答 原則3戸以上で補助対象となるが、2戸分の耕作地しかない場合は対応を検討する。
- 問 小字ごとで防護柵を設置しても追いつかない。追加や補強などの要望への対応は。
- 答 集落全体を囲むような山裾への防護柵の設置を検討している。
- 問 市開発行為等の基準及び手続に関する条例の一部改正で、都市計画区域外ではどうのようになるのか。
- 答 美山、日吉地区において土砂災害防止法の警戒区域指定が進んでいるが、特請が必要となり、既存宅地別警戒区域に指定されると、両地区では建築確認申請が困難となることから、1千平方メートルまで市の開発条例の適用を除外しようとするもの。
- 問 外出支援サービスの実施要項では、80歳以上サービスの打ち切りという規定はない。このサービスは、利用したいときに利用できいい実態がある。
- 答 外出支援の重要性は認識している。福祉サービスを受けられる人と公共交通機関を利用できる人との間にいる人に対する外出支援について、タクシーや業者、福祉有償運送事業者、一般のサービス提供者と今年度中には結論を得るべく調整

- 問 美山和泉交差点観光交流広場において、指定管理者の会社と振興会が共催で催しを行った場合の利用料の扱いは。
- 答 市が主催する行事、広く市民を対象とした公益性の高い行事、その他市長が認めた行事があるが、今後全校に展開するのか、また、学校評議員制度との連携は免除となる。
- 問 園部地域のCATVケーブル化はいつ頃か。
- 答 25年度を目途としているが、今年度計画の予定。
- 問 美山中学校で「ミニユニアース・スクール推進研究事業に取り組むとあるが、今後全校に展開するのか、また、学校評議員制度との連携は必要。学校評議員制度連携は。
- 答 本格実施にあたっての事前指定研究として2年間美山中学校で実施する。補助金がなくても学校・家庭・地域が一体となつた学校運営に取り組むとあるが、今後全校に展開するのか、また、学校評議員制度との連携は必要。学校評議員制度連携は。
- 問 美山中学校で実施する。補助金がなくても学校・家庭・地域が一体となつた学校運営に取り組むとあるが、今後全校に展開するのか、また、学校評議員制度との連携は必要。学校評議員制度連携は。

一般質問



本町区画整理事業

問 市長も2期目として具体的なまちづくりに本格的に取り組む必要がありますが、合併特例債、過疎債を活用したまちの活性化につながる

問 思いついた財政投資効果の考え方。「市街地再開発」「八木駅改築と周辺整備」「市役所庁舎建設」「火葬場建設」等の具体的な対応は、また、市内の商工業、建設業、農林業など、市民生活の不安に対する具体的な方策は。

問 市長 子ども、安心、地域、産業の重点施策を、総合振興計画の重点として取り組み、合併特例債や過疎債も活用し、積極的に着実なまちづくりに取り組んでいく。

問 丹政会 市長 恵みのまちづくりに取り組む

問 市長 丹波町の選定、詳細の検討を進めている。市役所は、防災拠点の位置づけとしても重要であり、合併特例債が活用できる10年の間に早急に議論を進める。

問 森 夢と希望のある将来へのまちづくりを



丹政会 森 嘉三 議員

問 仲 国民健康保険税の引き下げを

問 市長 国保税の引き下げは到底不可能

問 市長 中学校給食の検討組織は

問 教育長 JR八木駅の改修の目途は

問 市長 小規模校への考え方

問 教育長 本町区画整理事業に対する市長の見解

問 仲 国保税の引き下げは到底不可能

問 市長 地方自治を進めるためにも議論が必要

問 市長 JR八木駅の改修の目途は

問 市長 小規模校への考え方

問 市長 本町区画整理事業に対する市長の見解

問 仲 国保税の引き下げは到底不可能

問 市長 地方自治を進めるためにも議論が必要

問 市長 小規模校への考え方

問 市長 本町区画整理事業に対する市長の見解

問 仲 国保税の引き下げは到底不可能

問 市長 地方自治を進めるためにも議論が必要

問 市長 小規模校への考え方

問 市長 本町区画整理事業に対する市長の見解

問 仲 国保税の引き下げは到底不可能

問 市長 地方自治を進めるためにも議論が必要

問 市長 小規模校への考え方

問 市長 本町区画整理事業に対する市長の見解



JR 胡麻駅

問 園部八木線は船枝地内を通過していない。公共交通機関は高齢化の進む昨今、交通弱者の外出に欠かせない移動手段である。

問 市長 利便性の向上を考えると運行ルートの見直しが必要である。要望を十分踏まえながら利用していただきやすい交通システムを構築していく。

問 市長 環境に対する市の取り組みは

問 市長 保育環境の充実を

問 市長 さんと連携をとりながら、市としても積極的に進めることで、年齢、また地域において一定の集団での保育の確保も考慮しながら必要な対策を講じる。

問 市長 これまで再三、JRに要望してきたがこれからも続ける。乗降客を増やす方策を探るのが行政課題との認識はある。

問 市長 丹波町と連携して、

谷 早急に交通システムを構築する



南風クラブ 谷 幸 議員

利便性を考えた市営バス運行を



市議会だより『なんたん』/第18号

一般質問

一般質問

廣瀬

有害鳥獣対策の計画的な推進は



問 有害鳥獣の農林業に対する被害は、大変重大で深刻である。また、捕獲頭数も計画通り至っており、獣友会への支援も十分でない。

早期の解決が望まれる中「市民参加と協働の推進」条例を活用して、「鹿

肉活用開発チーム結成に努力

市長

病院のサービス向上を



問 本市の医療機関においては、ドクターヘリの運航や診察予約制の導入や院内保育所の設置など、将来を見据えた運営に感謝してい

結成に向けて努力する。しかし、実態の中では、待合席で名前を呼ばれるのを待っている状態である。

「外来患者呼出システム

は、診察順を音とバイブで知らせるシステムで、患者のリスクを少なくする

性の確保に努めている。今後も充実に努力する。

一般質問



園部多目的グラウンド

問 スポーツは健康保持・心豊かな感性・相互理解に寄与し、幅広い人間性を培ってくれる社会の潤滑油である。また競技である以上、技術

スポーツ振興は大切である

市長



丹政会 橋本尊文議員

公認専用野球場の建設を

市長

問 スポーツは地域活性化の一環として公認専用野球場の建設を求める。このことは直接的技術の向上はもとより、精神的支柱となる、全国に発信する基地となり、本市の発展に貢献するものである。将来展望の考

えは。

市長

え。

教育長

ある。

教育長

将来的研究課題で

ある。

市長

</



価格の低迷が続くブランド京野菜

問 農林業においては、米や野菜、木材価格の長期的な低迷が店街はにぎわい建築業においても、公共事業の低迷が続く中、本市街はにぎわいをなくし、土木

問 減少や低落化率による入札結果となり、依然厳しい経済状況にある。市長の総合施策の具体的な中身は。

問 うち「産業の未来を創る」施策の具体的な中身は。市内での厳しい経済状況は把握している。今後4年間で産業振興を図るさま

――新たな分野との連携も考慮し実施

市長

川勝 儀昭 議員

問 八木駅舎改築の進ちょく状況は――

市長

問 バス交通の充実を――

問 園部駅と八木駅の市営駐輪場を利用している障がい者がおられるが、両駐輪場料金の障がい者に対する減免等の制度がない状況。減免制度を設けている近隣自治体が多い中、本市としても障がい者が外出しやすい環境づくりを進める

問 園部駅と八木駅の市営駐輪場を利用している障がい者がおられるが、両駐輪場料金の障がい者に対する減免等の制度がない状況。減免制度を設けている近隣自治体が多い中、本市としても障がい者が外出しやすい環境づくりを進める

問 減免実施に向け早急に検討

市長

山下 秋則 議員

――現実化が念頭か――

市長

問 園部駅西口駐輪場

問 市営駐輪場料金の障がい者減免を――

市長

山下

市長

問 市営駐輪場料金の障がい者減免を――



地域振興会による「フラワーライン計画」

問 市長が提案された「市民と一緒にやって育てていくまちづくり」の仕組みは、総合振興計画はあくまでも理想、努力目標では。い

問 市長が提案された「市民と一緒にやって育てていくまちづくり」の仕組みは、総合振興計画はあくまでも理想、努力目標では。い

問 つまでも「財政難、辛抱、辛抱」ではなく、市民に夢を与えてほしい。

問 市長が提案された「市民と一緒にやって育てていくまちづくり」の仕組みは、総合振興計画はあくまでも理想、努力目標では。い

問 高齢者の生活支援事業の中で、外出支援サービス事業において、今回の見直しによって多くの方がサービスを受けられなくなつた。高齢になつてからのサービスの打ち切りは、当人にとってはたいへんな精神的、肉体的な負担増であるが。市長 外出支援サービスは、自力で外出が困難な方に対する行つている。利用者に公平、公正なサービスを提供したい。交通問題、外出に対するニーズというものをしっかりとらまえる中で、このあり方についても、早急に取り組みを進めたい。

問 中学校給食について市長は、市長選で実施を公約された。リーダーシップを發揮され、早期に実現して

問 市立住宅には若い単身者は人居できない。社会形態の変化を読み取り、それ

問 いくべきと考えるが。市長 給食についてどのように形でできるか、さまざまなかたちで検討していく。市長 公営住宅法に縛られることが大事だ。

木戸 交通問題、外出に対するニーズに対応

市長 外出支援サービスの「層の充実を

木戸 德吉 議員

問 それぞれの中学校が抱えている課題を共通的に抱えていくことで、このあたり方についても、早急に取り組みを進めたい。

問 できる市営住宅に――

市長

問 いくべきと考えるが。市長 給食についてどのように形でできるか、さまざまなかたちで検討していく。市長 公営住宅法に縛られることが大事だ。

木戸

外出支援サービスの「層の充実を

木戸 德吉 議員

問 いくべきと考えるが。市長 給食についてどのように形でできるか、さまざまなかたちで検討していく。市長 公営住宅法に縛られることが大事だ。

問 できる市営住宅に――

市長

問 いくべきと考えるが。市長 給食についてどのように形でできるか、さまざまなかたちで検討していく。市長 公営住宅法に縛られることが大事だ。

問 高齢者の生活支援事業の中で、外出支援サービスは、自力で外出が困難な方に対する行つている。利用者に公平、公正なサービスを提供したい。交通問題、外出に対するニーズというものをしっかりとらまえる中で、このあり方についても、早急に取り組みを進めたい。

問 中学校給食について市長は、市長選で実施を公約された。リーダーシップを發揮され、早期に実現して

問 市立住宅には若い単身者は人居できない。社会形態の変化を読み取り、それ

問 いくべきと考えるが。市長 給食についてどのように形でできるか、さまざまなかたちで検討していく。市長 公営住宅法に縛られることが大事だ。

木戸 交通問題、外出に対するニーズに対応

市長 外出支援サービスの「層の充実を

木戸 德吉 議員

問 それぞれの中学校が抱えている課題を共通的に抱えていくことで、このあたり方についても、早急に取り組みを進めたい。

問 できる市営住宅に――

市長

問 いくべきと考えるが。市長 給食についてどのように形でできるか、さまざまなかたちで検討していく。市長 公営住宅法に縛られることが大事だ。

木戸

外出支援サービスの「層の充実を

木戸 德吉 議員

問 いくべきと考えるが。市長 給食についてどのように形でできるか、さまざまなかたちで検討していく。市長 公営住宅法に縛られることが大事だ。

問 できる市営住宅に――

市長

問 いくべきと考えるが。市長 給食についてどのように形でできるか、さまざまなかたちで検討していく。市長 公営住宅法に縛られることが大事だ。

問 高齢者の生活支援事業の中で、外出支援サービスは、自力で外出が困難な方に対する行つている。利用者に公平、公正なサービスを提供したい。交通問題、外出に対するニーズというものをしっかりとらまえる中で、このあり方についても、早急に取り組みを進めたい。

問 中学校給食について市長は、市長選で実施を公約された。リーダーシップを發揮され、早期に実現して

問 市立住宅には若い単身者は人居できない。社会形態の変化を読み取り、それ

問 いくべきと考えるが。市長 給食についてどのように形でできるか、さまざまなかたちで検討していく。市長 公営住宅法に縛られることが大事だ。

木戸 交通問題、外出に対するニーズに対応

市長 外出支援サービスの「層の充実を

木戸 德吉 議員

問 それぞれの中学校が抱えている課題を共通的に抱えていくことで、このあたり方についても、早急に取り組みを進めたい。

問 できる市営住宅に――

市長

問 いくべきと考えるが。市長 給食についてどのように形でできるか、さまざまなかたちで検討していく。市長 公営住宅法に縛られることが大事だ。

問 高齢者の生活支援事業の中で、外出支援サービスは、自力で外出が困難な方に対する行つている。利用者に公平、公正なサービスを提供したい。交通問題、外出に対するニーズというものをしっかりとらまえる中で、このあり方についても、早急に取り組みを進めたい。

問 中学校給食について市長は、市長選で実施を公約された。リーダーシップを発揮され、早期に実現して

問 市立住宅には若い単身者は人居できない。社会形態の変化を読み取り、それ

問 いくべきと考えるが。市長 給食についてどのように形でできるか、さまざまなかたちで検討していく。市長 公営住宅法に縛られることが大事だ。

木戸

外出支援サービスの「層の充実を

木戸 德吉 議員

問 いくべきと考えるが。市長 給食についてどのように形でできるか、さまざまなかたちで検討していく。市長 公営住宅法に縛られることが大事だ。

問 できる市営住宅に――

市長

問 いくべきと考えるが。市長 給食についてどのように形でできるか、さまざまなかたちで検討していく。市長 公営住宅法に縛られることが大事だ。

問 高齢者の生活支援事業の中で、外出支援サービスは、自力で外出が困難な方に対する行つている。利用者に公平、公正なサービスを提供したい。交通問題、外出に対するニーズというものをしっかりとらまえる中で、このあり方についても、早急に取り組みを進めたい。

問 中学校給食について市長は、市長選で実施を公約された。リーダーシップを発揮され、早期に実現して

問 市立住宅には若い単身者は人居できない。社会形態の変化を読み取り、それ

問 いくべきと考えるが。市長 給食についてどのように形でできるか、さまざまなかたちで検討していく。市長 公営住宅法に縛られることが大事だ。

問 高齢者の生活支援事業の中で、外出支援サービスは、自力で外出が困難な方に対する行つている。利用者に公平、公正なサービスを提供したい。交通問題、外出に対するニーズというものをしっかりとらまえる中で、このあり方についても、早急に取り組みを進めたい。

問 中学校給食について市長は、市長選で実施を公約された。リーダーシップを発揮され、早期に実現して

問 市立住宅には若い単身者は人居できない。社会形態の変化を読み取り、それ

問 いくべきと考えるが。市長 給食についてどのように形でできるか、さまざまなかたちで検討していく。市長 公営住宅法に縛られることが大事だ。

問 高齢者の生活支援事業の中で、外出支援サービスは、自力で外出が困難な方に対する行つている。利用者に公平、公正なサービスを提供したい。交通問題、外出に対するニーズというものをしっかりとらまえる中で、このあり方についても、早急に取り組みを進めたい。

問 中学校給食について市長は、市長選で実施を公約された。リーダーシップを発揮され、早期に実現して

問 市立住宅には若い単身者は人居できない。社会形態の変化を読み取り、それ

問 いくべきと考えるが。市長 給食についてどのように形でできるか、さまざまなかたちで検討していく。市長 公営住宅法に縛られることが大事だ。

問 高齢者の生活支援事業の中で、外出支援サービスは、自力で外出が困難な方に対する行つている。利用者に公平、公正なサービスを提供したい。交通問題、外出に対するニーズというものをしっかりとらまえる中で、このあり方についても、早急に取り組みを進めたい。

問 中学校給食について市長は、市長選で実施を公約された。リーダーシップを発揮され、早期に実現して

問 市立住宅には若い単身者は人居できない。社会形態の変化を読み取り、それ

問 いくべきと考えるが。市長 給食についてどのように形でできるか、さまざまなかたちで検討していく。市長 公営住宅法に縛られることが大事だ。

問 高齢者の生活支援事業の中で、外出支援サービスは、自力で外出が困難な方に対する行つている。利用者に公平、公正なサービスを提供したい。交通問題、外出に対するニーズというものをしっかりとらまえる中で、このあり方についても、早急に取り組みを進めたい。

問 中学校給食について市長は、市長選で実施を公約された。リーダーシップを発揮され、早期に実現して

問 市立住宅には若い単身者は人居できない。社会形態の変化を読み取り、それ

問 いくべきと考えるが。市長 給食についてどのように形でできるか、さまざまなかたちで検討していく。市長 公営住宅法に縛られることが大事だ。

問 高齢者の生活支援事業の中で、外出支援サービスは、自力で外出が困難な方に対する行つている。利用者に公平、公正なサービスを提供したい。交通問題、外出に対するニーズというものをしっかりとらまえる中で、このあり方についても、早急に取り組みを進めたい。

問 中学校給食について市長は、市長選で実施を公約された。リーダーシップを発揮され、早期に実現して

問 市立住宅には若い単身者は人居できない。社会形態の変化を読み取り、それ

問 いくべきと考えるが。市長 給食についてどのように形でできるか、さまざまなかたちで検討していく。市長 公営住宅法に縛られることが大事だ。

問 高齢者の生活支援事業の中で、外出支援サービスは、自力で外出が困難な方に対する行つている。利用者に公平、公正なサービスを提供したい。交通問題、外出に対するニーズというものをしっかりとらまえる中で、このあり方についても、早急に取り組みを進めたい。

問 中学校給食について市長は、市長選で実施を公約された。リーダーシップを発揮され、早期に実現して

問 市立住宅には若い単身者は人居できない。社会形態の変化を読み取り、それ

問 いくべきと考えるが。市長 給食についてどのように形でできるか、さまざまなかたちで検討していく。市長 公営住宅法に縛られることが大事だ。

問 高齢者の生活支援事業の中で、外出支援サービスは、自力で外出が困難な方に対する行つている。利用者に公平、公正なサービスを提供したい。交通問題、外出に対するニーズというものをしっかりとらまえる中で、このあり方についても、早急に取り組みを進めたい。

問 中学校給食について市長は、市長選で実施を公約された。リーダーシップを発揮され、早期に実現して

問 市立住宅には若い単身者は人居できない。社会形態の変化を読み取り、それ

問 いくべきと考えるが。市長 給食についてどのように形でできるか、さまざまなかたちで検討していく。市長 公営住宅法に縛られることが大事だ。

問 高齢者の生活支援事業の中で、外出支援サービスは、自力で外出が困難な方に対する行つている。利用者に公平、公正なサービスを提供したい。

松尾

財政危機の原因と改善策は

市長



松尾 武治 議員

問 市長答弁で、具体的な改善計画が示されると期待していたが示されなかつた。財政的な質問を市長に求めたのが無理だったと理解する。

財政の責任者である総務部長の具体策は。

総務部長 税収の伸びは期

待できない。公債費の繰り上げ償還等を3年間実施し

た。義務的経費のうち、人

件費の削減は、定員削減計

画、賃金カット等、既に取

り組んでいる。

問 市長の言葉では、「本市の基礎固めができた。また、本市の財政は厳しいにも関わらず、21年度は、基金（貯金）の取崩しをしなかつた」とのことであるが、これは国の経済対策恩恵であつて、経済対策が切られると厳しい状況はさらに

深刻になると考えるが、財政危機に陥らせた原因と改善策は。

問 本市の人口費・物件費の削減率は、他の市町村と比較すると非常に低い。改めて、財政危機の原因と改善策を具体的に。

問 現在、総合振興計画の中で、23年度から25年度の実施計画を見直し、中長期の財政計画を策定する。

議員提出議案 議会活性化対策特別委員会設置 全員賛成で可決

提案理由要旨
地方分権化時代の到来で、議会の審議・監視機能の役割は一層重要性を帶

常任委員会 活動報告

▼厚生常任委員会

予算（第1号）では、男女共同参画推進事業の相談業務委託料の内容や保育所管理運営費の財源の変更などについての意見があります。

議会のあり方の再構築や議会運営の問題等に大きな成果を上げその任を終えたところである。

議会の負託にこだわり方がある議会を必要とされるこの委員会がいまの議会では良くないと認めているゆえ

委員長 橋本 尊文
副委員長 矢野 康弘
委員 林 義次
森 茂
村田 美好
高野 昭

市一般会計補正予算（第1号）の消防費の備蓄食について、合併以降の取り組みの実態や現状を質疑し、備蓄食の本庁並びに各支所の保管状況の説明を受けました。

市街地や非農家が密集している園部・八木町域での長期避難者が1万400人の想定のもと、1万500食を基準とし、本庁と各支所で保管し、併せて今後スーパーやコンビニなどで保管する計画です。

付託された報告3件は

得て可決しました。

付託された報告3件は

全員賛成で承認、他1件は

賛成多数で承認し、議案12件は、全員賛成で可決しました。

付託された報告4件と

議案12件について審査を行

いました。特に平成21年度

南丹市一般会計補正予算

（第8号）の専決処分の承認に関し、土地改良区総代選挙を市が委託を受ける根拠についての指摘をし、総務部長から「法律に基づき委託を受け実施しているが、今後十分な精査を行なう」との答弁を得て可決。

また、平成22年度南

丹市一般会計補正

件と議案4件の計6件について審査を行いました。

主な質疑とし

て、平成22年度南

丹市一般会計補正

付託された報告2件と議案4件の計6件について審査を行なうと、

10 ~「ふる里ファーム五ヶ荘」~
代表 久世 和夫

第十回は日吉町の久世さんが代表を務めておられる「ふる里ファーム五ヶ荘」を紹介します。

五ヶ荘小学校の跡地で府道に面した一角に「ふる里ファーム五ヶ荘」がオープンして九ヵ月が経過しました。全くの素人の寄り集まりで、見よう見まねでスタートしました。当初は出品の状態が悪くてお客様さんに指摘されたことがあります。いまだこの満足のいく出品状態ではあります。せんが、少しずつでもお客様に喜んでもらえるような野菜を並べたいと思っています。

4月からは月に一回程度、会員の奥さんたちが学校の給食室を利用して調理した、お弁当や餅、漬物等を出品していただき、お客様に好評を得ていますが、もっと回数を増やしたいと思っています。

また休憩場所も用意しており、地域の方や都会の方たちとの交流の場に努めています。

市内にも多くある野菜の直売所に負けないような特色のある「ふる里ファーム五ヶ荘」にしていきたいと思っています。

新鮮な野菜が並ぶ朝市



この祭り、名称から京

7月、真夏の到来です。
7月といえば京都は八坂神社の祇園祭ですが、今

号の表紙を飾っている「祇園さん」はご存知でしょうか。

もちろん、美山の皆さんには恒例の祭りであります。まことに八坂神社があり、こちらでは「祇園さん」と言わぬ府の登録無形民俗文化財となっています。

広報委員



（M・N）

// // // //

委 員 副委員長 委員長
廣瀬 林 仲村 小 中 大 町 山 下 仲
孝 人 茂 学 昭 功 秋 則 絹 枝

9月定例会の予定

9月1日(水)本会議

(開会、議案提案説明)

9月7日(火)本会議

(一般質問)

9月8日(水)本会議

(一般質問)

9月9日(木)本会議

(一般質問)

9月24日(金)

(採決、閉会)

* 8月24日(火)午後5時までに提出された請願・陳情等は9月定例会で取り扱われます。

*会議時間はいずれも午前10時からの予定です。この日程については予定であり、予告なく変更となる場合があります。